

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(10/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.0	3.5 進捗度 ・国際医療交流の推進 133% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 76%	3.0 規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 ・宿泊施設設置奨励金 等	2.8	<p>・訪日外国人の増加に応じて、医療通訳の育成と対応を増加させていることは評価できる。全体として一定の活動成果は上がっていると認めるが、特区ガイドの活動件数向上等のため、一層の認知度向上、活動実績向上策の考案が必要。</p> <p>・外国人がん患者診療数が伸びていないことに対する現状分析が必要。地域全体の観光客の増加が本来の特区の目的である国際医療拠点作りと乖離している印象があり、それに対して地域独自の新たな取組もほとんど行われていない。診療数の増加に向けた具体的な対策に期待したい。</p> <p>・空港から国内各地への移動手段は整備されており、特段の利点、魅力がなければ、隣接市でのがん医療の受診は選択しないと思われる。現実的な目標の再設定が必要である。</p> <p>・本プロジェクトの独自性が、事業間の連携に求められているように判断できるが、その連携を十分にコーディネートできているとはいえない。</p>